

（平成 28 年度 JAM・ビクター高齢者・退職者の会）

JVC シニアクラブ

（文責・総会書記：西郷治男）

■日時：2015. 10. 7(水) 12:00～13:15

■場所：パセラリゾーツ・BENOA 横浜店（横浜ハマボール・イース7階）

1. 開会 [12:00]

◆はじめに、司会の高石副会長より1年間の物故者3名～西文彦氏（東京、2014年10月享年75歳）、市毛達郎氏（埼玉、2014年11月享年72歳）、高橋正善氏（神奈川、2015年3月享年75歳）に対し、黙祷が行われた。

◆開会挨拶の後、議長選出の事務局案（浅見憲一氏）が提案され、承認された。

2. 総会役員選出

◆議長の浅見氏が登壇。挨拶の後、議長より書記に西郷が任命された。

3. 会長挨拶 [12:10]

◆菅沼会長より挨拶。

- ・シニアクラブは平成14年10月の設立総会以来、今回で14年目を迎えるが、会員はほぼ240名の組織となった。昨年の参加者は最も多い67名だったが、今回は当初70名を超える申込みながら直前キャンセルが続き、本日は61名の方々にご参加いただいた。
 - ・世の中は色々なことが起き厳しい状況にあるが、それらの言及は省略させていただく。大事なことは昨年も話した健康寿命であり、今年もそれを意識した活動を進めていきたい。
 - ・今年は戦後70年で色々な意義が論じられているが、日本ビクターも昭和2年9月13日の創立以来、今年88年目の米寿に当たり、会社が健全ならば様々な催しも行われただろうと思われるが、戦中戦後を通じて栄枯盛衰の歴史を作ってきたことは事実である。
 - ・こうした経緯を踏まえ、寿会では支部毎の活動が主体となり各地区で色々な趣向の活動が盛んになってきた。シニアクラブもそのような活動を目指し、活発化していくことを願う。
 - ・これからも健康寿命を意識し「教育・教養」※をモットーに、毎日を元気に過ごしていきたい。皆さんもこうした催しには積極的にご参加いただくよう、ご支援ご協力をお願いする。
- ※教育・教養＝「今日どこへ行く・今日何の用」の意味。毎日目的意識を持って生活する。

4. 来賓挨拶 [12:20]

◆JVCケンウッド労組・大川委員長より挨拶。

- ・第14回総会を祝し、盛会を願うと共に、日頃のご支援ご協力に御礼を申し上げる。
- ・私は平成元年入社で今年49才であるが、会社の主要ポジションも平成生まれが占めるような時代になってきた。本日は現状の経営概況と労組の状況をお話し、挨拶に代えたい。
- ・JVCとケンウッドは2006年経営統合後、2011年JVCケンウッドとなって5年目となるが、グループ全体売上げは3000億円規模、グループ人員も2万人を切る状況にある。事業内容も大きく変わり、現在の主力はカーナビでディーラーオプション（後付け）から純正オプション（新車）に変わりつつある。残念ながら店頭のJVC商品は減少、カメラは国内2モデル、オーディオは10万円以上のコンボに絞られ、アクセサリもヘッドホン中心である。
- ・一方、労組の状況であるが、昨年10月に一本化されたJVCケンウッド労組には上部団体の問題が残されている。これらの課題の解決について、先輩方の過去の貴重な資料を読み返させていただいたが、まだまだ現役としてやるべきことが数多くあることを痛感した。

- ・また皆様に関心が高い日本ビクター厚生年金基金については、将来にわたって健全な運営状況にあり、これからも存続していけるよう、労組としても見守っていかねばならない。
- ・今後も現役労組の活動について、一層のご支援をよろしくお願いいたします。

5. 報告 [12:30]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で報告。

(1)平成 27 年度活動報告

＜議案書 1～3 ページ参照＞

- ・9 月に全会員宛「カラー版活動報告」を配布済であるが、主な活動はそれによって報告に代える。今後も予算が続く限り、カラー版活動報告を継続するが、ぜひ保存して欲しい。
- ・会場でプレゼン資料の説明～①会員数推移;昨年 245 名、今年は現時点 238 名。②行事参加者数;一昨年、昨年の延人数は同じだが、参加率は 43→50%へ増加。③健康寿命のテーマ活動;2015 年 1 月、小冊子「いつまでもイキイキ生活」を全員配布で意識付け。
- ・「カラー版活動報告」は参加実績のない会員への PR、今後の参加率向上を期待したい。

(2)平成 27 年度会計収支決算報告

＜議案書 4 ページ参照＞

- ・支出項目はほぼ予算どおり。支部活動補助 75%、郵送料 84%などで繰越金は 39 万円、前年 48 万円より約 9 万円減。支出ポイントは総会費と情宣費で、従来の勤労会館から会場外部化と参加者増による交通費、情宣費は小冊子「いつまでもイキイキ生活」配布代。
- ・プレゼン資料説明～過去 5 年間推移①収入;繰越金が増加傾向。収入の大半を占める労組本部の活動助成 50 万円の援助大。②支出;総会費と支部活動補助費が微増傾向。

(3)平成 27 年度会計監査報告

＜議案書 5 ページ参照＞

- ・会計監査の飯田氏より「7/31 現在の財務諸表について厳正に審査を行った結果、会計処理はすべて適正であることを認めた」と報告された。～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

6. 議案 [12:50]

◆田代事務局長より、(1)(2)一括で提案。

(1)平成 28 年度活動方針に関する件

＜議案書 6～8 ページ参照＞

- ・私達を取り巻く情勢認識～①国内外の動きに自らの考えで行動 ②経済動向を注視した生活防衛 ③情報管理の徹底 ④環境変化への対応力 ⑤健康寿命を意識した生活
- ・具体的活動方針～①会員増で組織拡大、フラットな組織風土 ②活動内容を分かりやすく情報伝達 ③健康寿命を意識した活動、意義ある活動推進 ④上部団体と連携、制度政策要求 ⑤個人を尊重、緩やかな連帯 ⑥キーワードは「イキイキ」、頭と体を鍛える

(2)ホームページ開設に伴う幹事 1 名追加の件

- ・このたびシニアクラブのホームページを開設、担当の宮田宏美氏を幹事に追加する。

(3)平成 28 年度会計収支予算に関する件

＜議案書 9 ページ参照＞

- ・予算額は昨年実績を基本に、幹事会費と支部活動補助費(前年予算同額)を必要分増額。予備費含め全予算額は前年比 93%(繰越金減)。～(1)(2)(3)一括し、拍手で承認。

7. その他 [13:10] 田代事務局長より「常総市水害カンパ(会員被災者 4 名)」に協力・要請。

- ・カンパ金 1 人 1,000 円に本部予算一部補填も加え、計 8 万円の見舞金が集約された。

8. 閉会 [13:15] 議長降壇、書記解任、閉会挨拶の後、懇親会前に記念撮影が行われた。

■交流懇親会 [13:30～15:15] (同一場所で開催)

- ・新たに HP 担当となった幹事・宮田氏の挨拶、会員の近況報告等につき、ビンゴゲームで楽しんだ。ビンゴ未達 3 名によるジャンケンの結果、大越伸二氏(東京)にリゾートホテル宿泊券が贈呈された。最後は遠藤功氏の定番「古い顔」の歌披露の後、中締めが行われ、15:15 終了。

以上